

# Linux\* 版 インテル® クイック・スタート・キット クイック・リファレンス

---

資料番号: C94155-002JA

# 改訂履歴

版数	改訂履歴	改訂日
-001	『Linux* 版 インテル® クイック・スタート・キット - クイック・リファレンス』の初版作成	2004 年 11 月
-002	ボードサポートを追加	2004 年 12 月

ボードに FCC 適合宣言のマークがついている場合は、次の説明が適用されます。

## FCC 適合性宣言

本デバイスは FCC 規則第 15 編に従うものです。動作にあたっては、以下に示す 2 つの条件を満たしていなければなりません。

(1) 本デバイスが有害な干渉を引き起こさないこと。(2) 本デバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉など、いかなる干渉を受けても対応できること。

本製品の EMC 性能に関するご質問は、弊社までお問い合わせください。

Intel Corporation  
5200 N.E. Elam Young Parkway  
Hillsboro, OR 97124  
1-800-628-8686

この機器は、FCC 規則第 15 編に規定しているクラス B のデジタル装置の規制に関するテストを行い、それに適合することが確認されています。この規制は、住居に設置した場合の、有害な干渉に対する十分な保護を規定したものです。この機器は、電波を発生、使用し、放射する機器であり、指示に従って設置および使用されていない場合、電波通信に有害な障害を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置において障害が起こらないことを保証するものではありません。この機器がラジオまたはテレビ受信の妨害をしている場合は、この機器の電源を切ることで確認できます。以下の方法のうち 1 つまたは複数を使って、障害が起こらなくなるように調整してください。

- 受信アンテナの向きを変えたり、位置を変えたりする。
- この機器と受信機との距離を離す。
- 受信機が接続されているのとは別回路のコンセントにこの機器を接続する。
- 販売店またはラジオ/テレビの専門技術者に相談する。

インテル社の明示的な許可を受けずにこの機器を変更または修正すると、ユーザは装置を操作する権限を失うことがあります。

## カナダ通信省の適合性宣言の表示

このデジタル機器は、カナダ通信省 (DOC) の無線干渉規制で定められている、デジタル機器からの無線雑音放射電磁波に関するクラス B の制限値を越えるものではありません。

## 免責条項

本資料に掲載されている情報は、インテル製品の概要説明を目的としたものです。本資料は、明示されているか否かにかかわらず、また禁反言によるとよらずにかかわらず、いかなる知的財産権のライセンスを許諾するためのものではありません。製品に付属の売買契約書『INTEL'S TERMS AND CONDITIONS OF SALES』に規定されている場合を除き、インテルはいかなる責を負うものではなく、またインテル製品の販売や使用に関する明示または黙示の保証 (特定目的への適合性、商品性に関する保証、第三者の特許権、著作権、その他、知的所有権を侵害していないことへの保証を含む) に関しても一切責任を負わないものとします。インテル製品は、医療、救命、延命措置などの目的への使用を前提としたものではありません。インテル製品は、予告なく仕様変更される場合があります。

インテル® デスクトップ・ボードは、エラッタと呼ばれる設計上の不具合が含まれている可能性があり、公表されている仕様とは異なる動作をする場合があります。現在確認済みのエラッタについては、インテルまでお問い合わせください。本資料に記載されているすべての製品、日付、数値は、現在の予想に基づくものであり、計画以外の目的ではご利用になれません。これらは予告なしに変更することがあります。他のチャネルでの購入方法は、条件によって異なります。

最新の仕様をご希望の場合および製品をご注文の場合は、お近くのインテルの営業所または販売代理店にお問い合わせください。

本資料またはインテルが提供するこれ以外の関連資料で参照されている文書のうち、注文番号が明記されているものについては、インテルのホームページ (<http://www.intel.co.jp/>) から、あるいはお電話 (1-800-548-4725) でコピーを入手できます。

ハイパー・スレディング・テクノロジーを利用するには、ハイパー・スレディング・テクノロジーに対応したインテル(R) Pentium(R) 4 プロセッサを搭載したコンピュータ・システム、および同技術に対応したチップセットと BIOS、OS が必要です。性能は、使用するハードウェアやソフトウェアによって異なります。HT テクノロジーに対応したプロセッサの情報等、詳細については <http://www.intel.co.jp/jp/info/hyperthreading/> を参照してください。

インテル、Intel ロゴ、Pentium、Celeron は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

\* その他の社名、製品名などは、一般に各社の商標または登録商標です。

© 2004 - 2005, Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。

# 目次

---

Linux* 版 インテル® クイック・スタート・キットの概要 .....	5
デバイスドライバのインストール手順 .....	6

表

表 1. インテル® 865 チップセット搭載のインテル® デスクトップ・ボードで Red Hat Linux Desktop v3 u3 ディストリビューションを使用した場合のドライバのアップグレード手順 .....	6
表 2. インテル® 915 チップセット搭載のインテル® デスクトップ・ボードで Novell Linux Desktop 9 ディストリビューションを使用した場合のドライバのアップグレード手順 .....	7
表 3. インテル® 915 チップセット搭載のインテル® デスクトップ・ボードで Red Flag Desktop 4.1 ディストリビューションを使用した場合のドライバのアップグレード手順 .....	8
表 4. インテル® 915 チップセット搭載のインテル® デスクトップ・ボードで Red Hat Linux Desktop v3 u3 ディストリビューションを使用した場合のドライバのアップグレード手順 .....	9

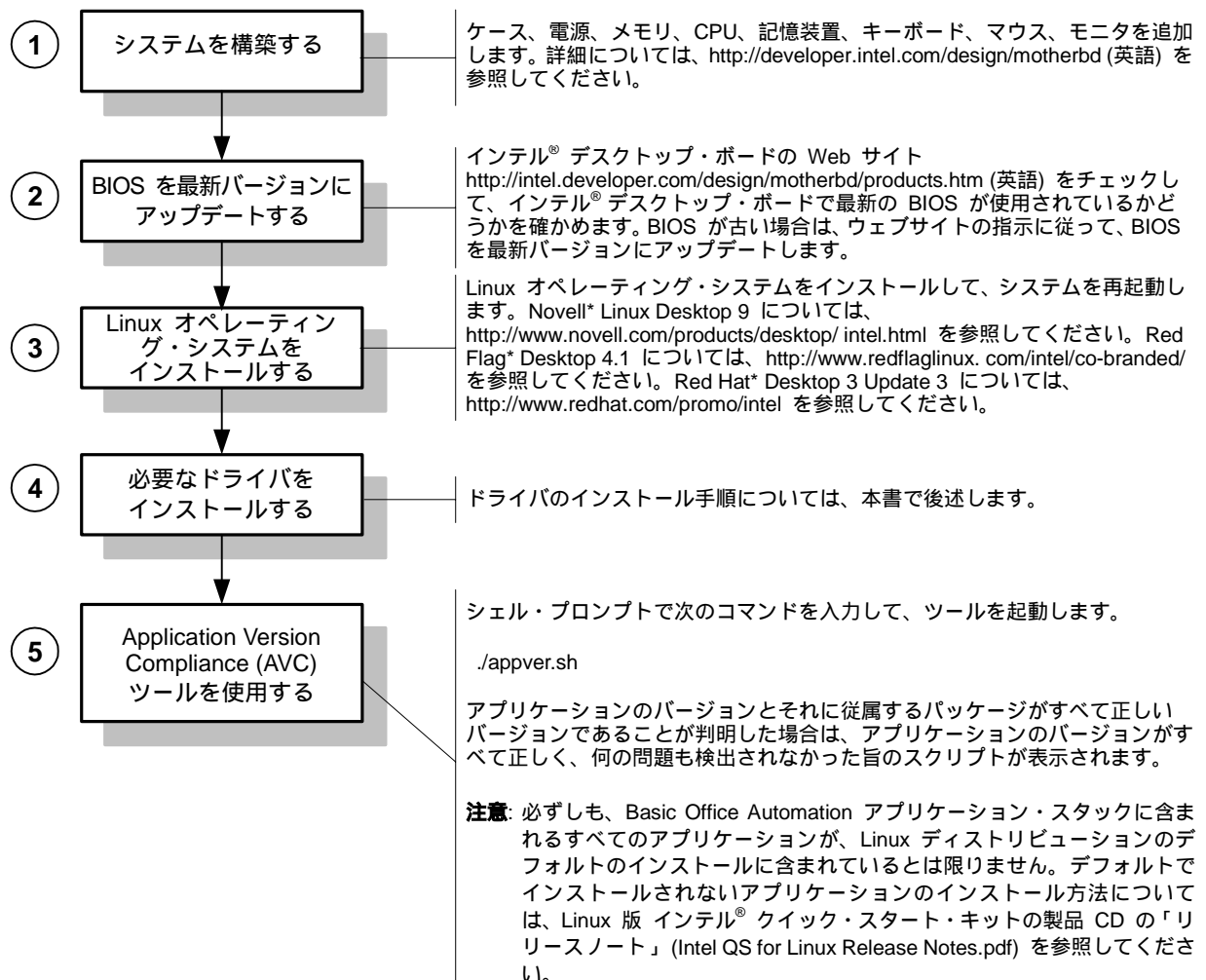


# Linux\* 版 インテル® クイック・スタート・キットの概要

Linux\* 版インテル® クイック・スタート・キットには、下記にリストする Linux オペレーティング・システム・ディストリビューションと併用した場合にサポートされているインテル® デスクトップ・ボードに必要な Linux ドライバソフトウェアが含まれています。

- Novell\* Linux\* Desktop 9
- Red Flag\* Desktop 4.1
- Red Hat\* Desktop 3 Update 3

本製品を使用するにあたっての全体的な流れは次のとおりです。この中でドライバのインストール手順を、本書の 6 ページ以降に記載します。この一連のプロセスについては、『Linux\* 版 インテル® クイック・スタート・キット - 製品ガイド』を参照してください。



## デバイスドライバのインストール手順

デバイスドライバをインストールするには、次の手順に従います。ドライバのインストールについて詳しくは、Linux\* 版 インテル® クイック・スタート・キットの CD に収録されている『Linux\* 版 インテル® クイック・スタート・キット - 製品ガイド』を参照してください。

1. 次のコマンドを入力して、システムで UP と SMP のどちらのカーネルが動作しているか調べます。カーネルが動作しているシステムで複数のプロセッサがサポートされている場合、単一のプロセッサを使用するシステムとは異なるドライバセットが必要になる可能性があります (たとえば、インテル® Pentium® 4 プロセッサではハイパー・スレッディング・テクノロジーをサポートしています)。この情報に基づいて、インストールするドライバを特定します。

```
# uname -r
```

2. オーディオ・ドライバをインストールします。どのドライバをどのような手順でインストールするかについては、表 1 ~ 表 4 を参照してください。
3. グラフィックス・ドライバをインストールします。ドライバをインストールする必要があるかどうか、およびどのドライバをどのような手順でインストールするかについては、表 1 ~ 表 4 を参照してください。
4. LAN ドライバをインストールします。ドライバをインストールする必要があるかどうか、およびどのドライバをどのような手順でインストールするかについては、表 1 ~ 表 4 を参照してください。

**表 1. インテル® 865 チップセット搭載のインテル® デスクトップ・ボードで Red Hat Linux Desktop v3 u3 ディストリビューションを使用した場合のドライバのアップグレード手順**

ドライバ	手順
AC '97 オーディオ・ドライバ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Linux* 版 インテル® クイック・スタート・キットの製品 CD をシステムの CD-ROM ドライブにロードします。</li> <li>2. root 権限でシステムにログオンします。</li> <li>3. Linux シェル・プロンプトで、次のディレクトリに移動します。 <code>&lt;cdrom_drive&gt;/drivers/audio/RH</code></li> <li>4. サウンドのインストール/コンフィグレーション・スクリプト <code>./audio_install</code> を実行します。</li> <li>5. CD-ROM ドライブから CD を取り出します。</li> <li>6. システムを再起動します。</li> </ol>
グラフィックス・ドライバ	アップデートは不要。
LAN ドライバ	アップデートは不要。

**表 2. インテル® 915 チップセット搭載のインテル® デスクトップ・ボードで Novell Linux Desktop 9 ディストリビューションを使用した場合のドライバのアップグレード手順**

ドライバ	手順
インテル® High Definition Audio Driver	<ol style="list-style-type: none"> <li>Linux 版 インテル® クイック・スタート・キットの製品 CD をシステムの CD-ROM ドライブにロードします。</li> <li>root 権限でシステムにログインします。</li> <li>Linux シェル・プロンプトで、次のディレクトリに移動します。ここで、<code>cdrom_drive</code> は、システム内のドライブのタイプに応じて、<code>/media/cdrom</code>、<code>/media/cdrecorder</code>、<code>/media/dvd</code>、<code>/media/dvdrrecorder</code> のいずれかになります。  <code>&lt;cdrom_drive&gt;/drivers/audio/NLD</code></li> <li>サウンドのインストール/コンフィグレーション・スクリプト <code>./audio_install</code> を実行します。</li> <li>システムを再起動します。</li> </ol>
インテル® グラフィックス・メディア・アクセラレータ 900  (インテル® 915G チップセット搭載のインテル® デスクトップ・ボードのみ)	<ol style="list-style-type: none"> <li>root 権限でシステムにログインします。</li> <li>Linux 版 インテル® クイック・スタート・キットの製品 CD (<code>&lt;cdrom_drive&gt;/drivers/graphics/NLD</code>) から <code>i915Graphics-1.0-0.i386.rpm</code> をシステムのルート・パーティションにコピーします。</li> <li>シェル・プロンプトを表示し、“init 3” と入力して、X11 が動作していないことを確認します。</li> <li>Ctrl+Alt+F1 キーを押した後、再度 root 権限でシステムにログインすると、コンソール 1 に切り替えます。</li> <li>ルート・ディレクトリ (“/”) になっていることを確認します。</li> <li>次のコマンドを入力して、RPM をインストールします。  <code>rpm -ihv i915Graphics-1.0-0.i386.rpm</code></li> <li>システムを再起動します。</li> <li>root 権限でシステムにログインします。</li> <li>ディストリビューション固有の表示設定ユーティリティを実行します。NLD 9 の場合は、“yast2” から実行します。</li> <li>915 G ドライバを選択して、Accelerated Graphics をオンにします。</li> <li>システムを再起動します。</li> </ol>
Marvell* Yukon Gigabit Driver	<ol style="list-style-type: none"> <li>Linux 版 インテル® クイック・スタート・キットの製品 CD をシステムの CD-ROM ドライブにロードします。</li> <li>root 権限でシステムにログインします。</li> <li>Linux シェル・プロンプトで、次のディレクトリに移動します。 <code>&lt;cdrom_drive&gt;/drivers/network/NLD</code></li> <li>ドライバをインストールします。SMP システムの場合は最初のコマンドを、UP システムの場合は 2 番目のコマンドを使用します。  <code>rpm -ivh sk98lin-7_08-nld9-2.6.5-7.111-smp.i586.rpm</code> <code>rpm -ivh sk98lin-7_08-nld9-2.6.5-7.111.i586.rpm</code></li> <li>システムを再起動します。</li> </ol>

表 3. インテル® 915 チップセット搭載のインテル® デスクトップ・ボードで Red Flag Desktop 4.1 ディストリビューションを使用した場合のドライバのアップグレード手順

ドライバ	手順
インテル® High Definition Audio Driver	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Linux 版 インテル® クイック・スタート・キットの製品 CD をシステムの CDROM ドライブにロードします。</li> <li>2. root 権限でシステムにログインします。</li> <li>3. Linux シェル・プロンプトで、次のディレクトリに移動します。 <code>&lt;cdrom_drive&gt;/drivers/audio/RF</code></li> <li>4. サウンドのインストール/コンフィグレーション・スクリプト <code>./audio_install</code> を実行します。</li> <li>5. システムを再起動します。</li> </ol>
インテル® グラフィックス・メディア・アクセラレータ 900  (インテル® 915G チップセット搭載のインテル® デスクトップ・ボードのみ)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. root 権限でシステムにログインします。</li> <li>2. シェル・プロンプトを表示し、“init 3”と入力して、X11 が動作していないことを確認します。init 3 を実行した後、システムに再度ログインしなければならない場合があります。</li> <li>3. Linux シェル・プロンプトで、次のディレクトリに移動します。 <code>&lt;cdrom_drive&gt;/drivers/graphics/RF</code></li> <li>4. 次のコマンドを入力して、RPM をインストールします。 <code>rpm -ihv i915Graphics-1.0-0.i386.rpm</code></li> <li>5. ランレベル 5 でシステムを再起動します。</li> <li>6. root 権限でシステムにログインします。</li> <li>7. Xconfigurator を実行します。</li> <li>8. i915 G ドライバを選択して、Accelerated Graphics をオンにします。<b>注意:</b> USB マウスをお使いの場合、Xconfigurator が「X の起動テスト」ステップをパスできないことがあります。このような場合は、このステップをスキップし、後で mouseconfig を実行してマウスを設定してください。</li> <li>9. ディストリビューション固有の表示設定ユーティリティを実行します。</li> <li>10. i915 G ドライバを選択して、Accelerated Graphics をオンにします。</li> <li>11. システムを再起動します。</li> </ol>
LAN ドライバ	アップデートは不要。



**表 4.      インテル® 915 チップセット搭載のインテル® デスクトップ・ボードで Red Hat Linux Desktop v3 u3 ディストリビューションを使用した場合のドライバのアップグレード手順**

ドライバ	手順
インテル® High Definition Audio	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Linux 版 インテル® クイック・スタート・キットの製品 CD をシステムの CD-ROM ドライブにロードします。</li> <li>2. root 権限でシステムにログインします。</li> <li>3. Linux シェル・プロンプトで、次のディレクトリに移動します。 <code>&lt;cdrom_drive&gt;/drivers/audio/RH</code></li> <li>4. サウンドのインストール/コンフィグレーション・スクリプト <code>./audio_install</code> を実行します。</li> <li>5. システムを再起動します。</li> </ol>
インテル® グラフィック・メディア・アクセラレータ  (インテル® 915G チップセット搭載のインテル® デスクトップ・ボードのみ)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. root 権限でログインします。</li> <li>2. Linux 版 インテル® クイック・スタート・キットの製品 CD をシステムの CD-ROM ドライブにセットします。 <code>/mnt/cdrom</code> または <code>/mnt/cdrom1</code> (CD を 2 つ目の CD-ROM ドライブにセットしている場合) に自動的に CD がマウントされるはずですが。</li> <li>3. シェル・プロンプトを表示し、“init 3” と入力して、X11 が動作していないことを確認します。</li> <li>4. <code>&lt;cdrom_drive&gt;/drivers/graphics/RH</code> ディレクトリになっていることを確認します。</li> <li>5. 次のコマンドを入力して、RPM をインストールします。 <code>rpm -ihv i915Graphics-1.0-0.i386.rpm</code></li> <li>6. システムを再起動します。</li> <li>7. root 権限でシステムにログインします。</li> <li>8. ディストリビューション固有の表示設定ユーティリティを実行します。Red Hat の場合は、<code>redhat-config-xfree86</code> コマンドから実行します。</li> <li>9. i915 G ドライバを選択して、Accelerated Graphics をオンにします。</li> <li>10. システムを再起動します。</li> </ol>

ドライバ	手順
Marvell* Yukon Gigabit Driver	<ol style="list-style-type: none"> <li>Linux 版 インテル® クイック・スタート・キットの製品 CD をシステムの CD-ROM ドライブにロードします。</li> <li>root 権限でシステムにログオンします。</li> <li>Linux シェル・プロンプトで、次のディレクトリに移動します。   <code>&lt;cdrom_drive&gt;/drivers/network/RH</code> </li> <li>ドライバをインストールします。SMP システムの場合は最初のコマンドを、UP システムの場合は 2 番目のコマンドを使用します。   <code>rpm -ihv sk98lin-7_08-rh3-2.4.21-20.ELsmp.i386.rpm</code>  <code>rpm -ihv sk98lin-7_08-rh3-2.4.21-20.EL.i386.rpm</code> </li> <li>システムを再起動します。</li> <li>システムを再起動すると、LAN アダプタ・ハードウェアが検出されます。詳しいコンフィグレーションを尋ねるプロンプトが表示されます。ほとんどのコンフィグレーションでは、DHCP オプションが使用されます。LAN コンフィグレーションの詳細については、Linux OS のドキュメントを参照してください。</li> </ol>

